

# アジア航測



社長

大槻 幸一郎氏

当社は1954年創業の「空間情報コンサルタント」企業です。創業当初は電源開発や砂防・治水計画、都市計画、農地山林開発などで使われる精緻(せいち)な地図を作成する上で欠かせない航空測量が主な事業でした。近年は航空測量で得たデジタル画像などの計測データに付加価値を付けたコンサル業務に力を入れています。最近では航空写真もデジタル画像が主流ですが、当社ではレーザー計測による3次元データを画像で表現する独自開

発の「赤色立体地図」も提供しています。

この赤色立体地図はすでに日本、米国、中国で特許

発電施設の立地調査、森林資源調査、古墳調査などに極めて有効と考えており、さらに幅広い分野で利用していただきたいと考えています。

当社のコンサル業務の中

した体制で全国展開を図っており、顧客ニーズに即したスピーディーな対応が可能です。特に自社で航空機を7機(東京・調布3機、大阪・八尾4機)保有しているのは技術力とともに他

安全確保や災害対策などの開拓に注力していきます。海外分野ではすでに東南アジアの一部で森林資源の調査などに参画しています。が、温暖化対策や生物多様性などの分野でもグローバルな視点から取り組みをさらに強化していくと考えています。特に地球環境問題の解決には対策の基になる基盤地図情報の作成など様々な空間情報がますます重要になってくるので、これらデータの蓄積事業にも一段と力を入れていきたいと思っています。また技術面では次世代の空間情報技術の開発にも力を入れていきま

当社の事業は公共性が高いことから経営理念の一つに「事業は社会の為に存続する」と掲げています。この理念に基づき、「地球の未来を創造する企業」として社会や地域の発展に貢献していくためにも、CSR(企業の社会的責任)活動も各事業拠点で活発に進めています。植樹や花の種まき、清掃活動への参加のほか、地域の小学生を招いての計測技術の体験学習、自社ビルの屋上緑化など多様な取り組みを展開しており、非営利組織(NPO)との協働も進めています。

## 地球環境分野中心にコンサル業務展開 赤色立体地図の利用促進に注力

を取得しているもので、普通の航空写真画像や地形図では分からない活断層などの位置をはっきりとらせることができるのが大きな特徴です。災害対策や原子力

心は現在、国土の保全・防災分野、温暖化対策や生物多様性などの地球環境分野になります。空間情報の計測・調査から解析処理、最終的な課題解決までの一貫

社にない強みの一つと自負しています。今後の成長戦略としては電力・鉄道分野と海外分野を重点事業に位置づけています。電力・鉄道分野では

安全確保や災害対策などの開拓に注力していきます。海外分野ではすでに東南アジアの一部で森林資源の調査などに参画しています。が、温暖化対策や生物多様性などの分野でもグローバルな視点から取り組みをさらに強化していくと考えています。特に地球環境問題の解決には対策の基になる基盤地図情報の作成など様々な空間情報がますます重要になってくるので、これらデータの蓄積事業にも一段と力を入れていきたいと思っています。また技術面では次世代の空間情報技術の開発にも力を入れていきま

当社の事業は公共性が高いことから経営理念の一つに「事業は社会の為に存続する」と掲げています。この理念に基づき、「地球の未来を創造する企業」として社会や地域の発展に貢献していくためにも、CSR(企業の社会的責任)活動も各事業拠点で活発に進めています。植樹や花の種まき、清掃活動への参加のほか、地域の小学生を招いての計測技術の体験学習、自社ビルの屋上緑化など多様な取り組みを展開しており、非営利組織(NPO)との協働も進めています。

